

(試験規程 別表 1)

G P A 制 度 に よ る 評 価

特に、海外への留学や就職時に G P A 制度による成績評価が必要な場合、申出により、この基準に則り、成績評価を作成する。

G P A 制度 (Grade Point Average)

欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の 5 段階評価を 4.0 から 0 までの点数 (G P = グレード・ポイント) に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。

将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度です。

G P A の評価対象科目

評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。

対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」、「学園祭」など。

G P A の成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合 否
66.7% 以上	100～90 点	S (4.0)	合 格
	89～80 点	A (3.0)	
	79～70 点	B (2.0)	
	69～60 点	C (1.0)	
	59～ 0 点	F (0.0)	不 合格

(注) 規定の出席率を満たし、S～C 評価の場合は単位認定され (合格)、F 評価は単位認定されない (不合格)。

G P A の計算方法 (例)

(例) 7 科目履修として

〇〇概論	(2 単位)	95 点	(S)	4.0 (GP)
××演習	(4 単位)	80 点	(A)	3.0 (GP)
△△研究	(2 単位)	75 点	(B)	2.0 (GP)
□□学	(2 単位)	93 点	(S)	4.0 (GP)
●●制作	(4 単位)	76 点	(B)	2.0 (GP)
■●企画	(3 単位)	63 点	(C)	1.0 (GP)
●●演習	(1 単位)	57 点	(F)	0.0 (GP)
合 計	18 単位			

$$\frac{4.0 \times (2+2) \text{ 単位} + 3.0 \times (4) \text{ 単位} + 2.0 \times (2+4) \text{ 単位} + 1.0 \times (3) \text{ 単位}}{18 \text{ 単位}}$$

$$\underline{\text{GPA}} = \frac{43 \text{ 単位}}{18 \text{ 単位}} \div 2.39$$